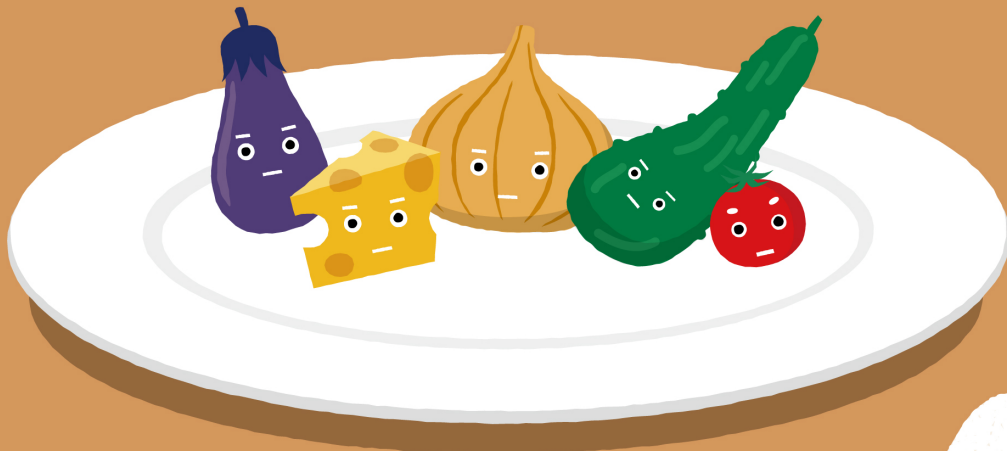


のこりものがたり

た かんが え ほん
食べる、を考える絵本





「いただきます!」「ごちそうさま!」

せ かい じゅう
世界中で、きょうもみんなが

しょく じ
食事をしています。

おむすびくんは、みんなが何なにを

食べているのか知しりたくなって、

たび で
旅に出ることにしました。



「いろいろな食べ物があるんだな。
おいしそう」

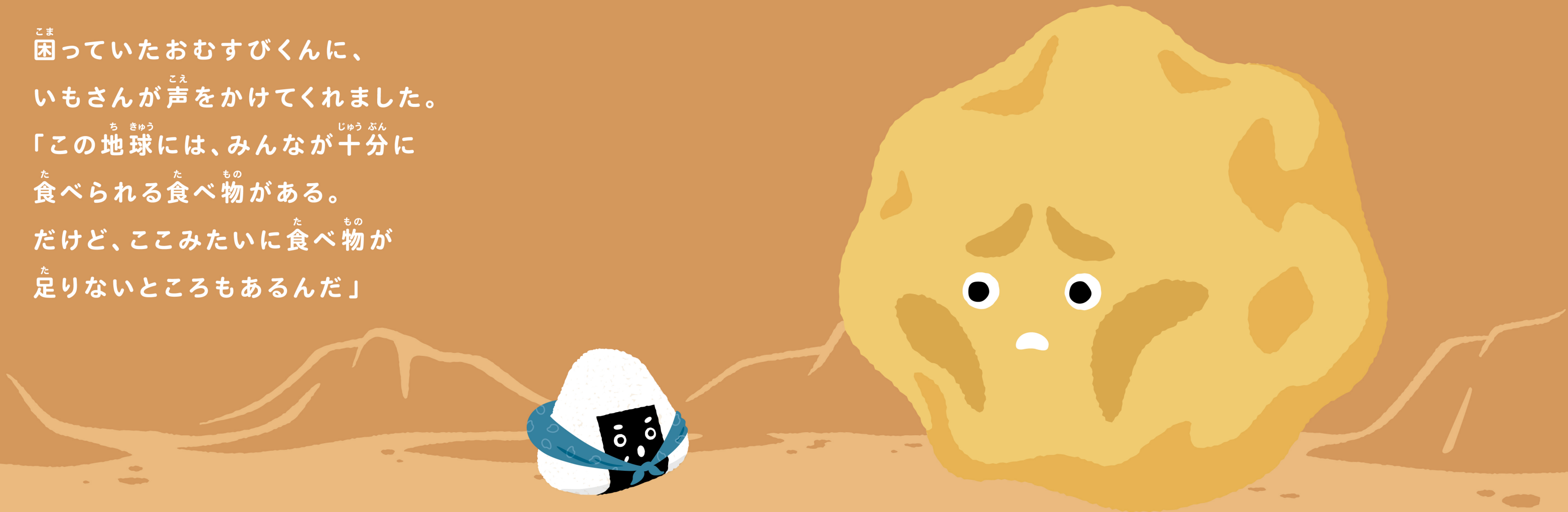


「あれはなんていう食べ物たものなんだろう」
「これはどんな味あじがするんだろう」

「あれ？ここには食^たべ物^{もの}がないぞ。
どうして？」



こま
困こまっていたおむすびくんに、
いもさんが声こえをかけてくれました。
「この地球ちきゅうには、みんなが十分じゅうぶんに
食たべられる食たべ物ものがある。
だけど、ここみたいに食たべ物ものが
足たりないところもあるんだ」



8億2100万人

世界では、8億2100万人の人たちが、
食料不足で苦しんでいる。

9人に1人が、十分に食べられずに困っている。

「えー！知らなかった！」

おむすびくんは、おどろきました。



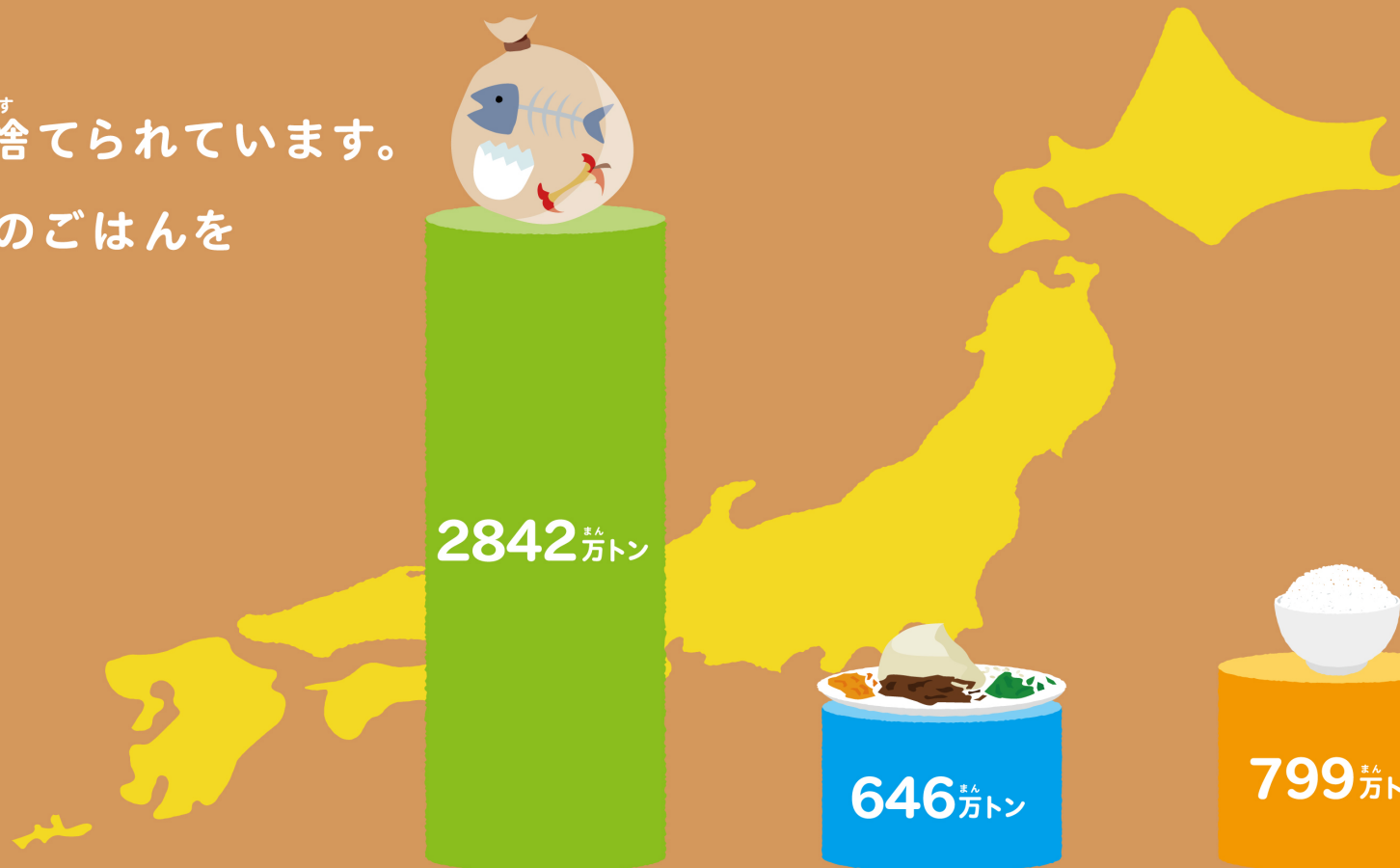
この地球では、食べるためにつくられた食べ物の、
3分の1が捨てられているそうです。



おむすびくんのいた日本でも、

年間2800万トンもの食べ物が捨てられています。

1人あたり1日おちゃわん1杯分のご飯を
捨てているのです。



捨てられている
食べ物

まだ食べられるはずの
食べ物

日本のコメの
年間収穫量

「ぜんぜん^し知らなかった」

おむすびくんは、いったいどうすればいいのか

^{なや}悩んでしまいました。

「いろんな『のこりもの』たちに^{みみ}耳を^{かたむ}傾けてごらん」

と、いもさんはおむすびくんに^い言いました。

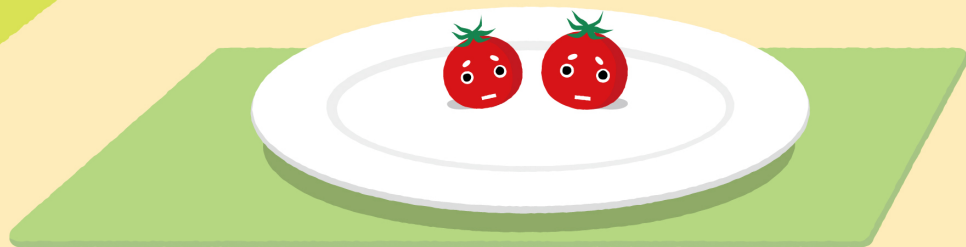


「好ききらいしないで、

きれいに食べてもらいたいなあ」とトマトさん。

残されてしまうさびしさを思い出して、

悲しそうでした。



「買いすぎや、

つくりすぎに注意してほしい」

と、玉ねぎさんが、

涙をほろほろと流していました。

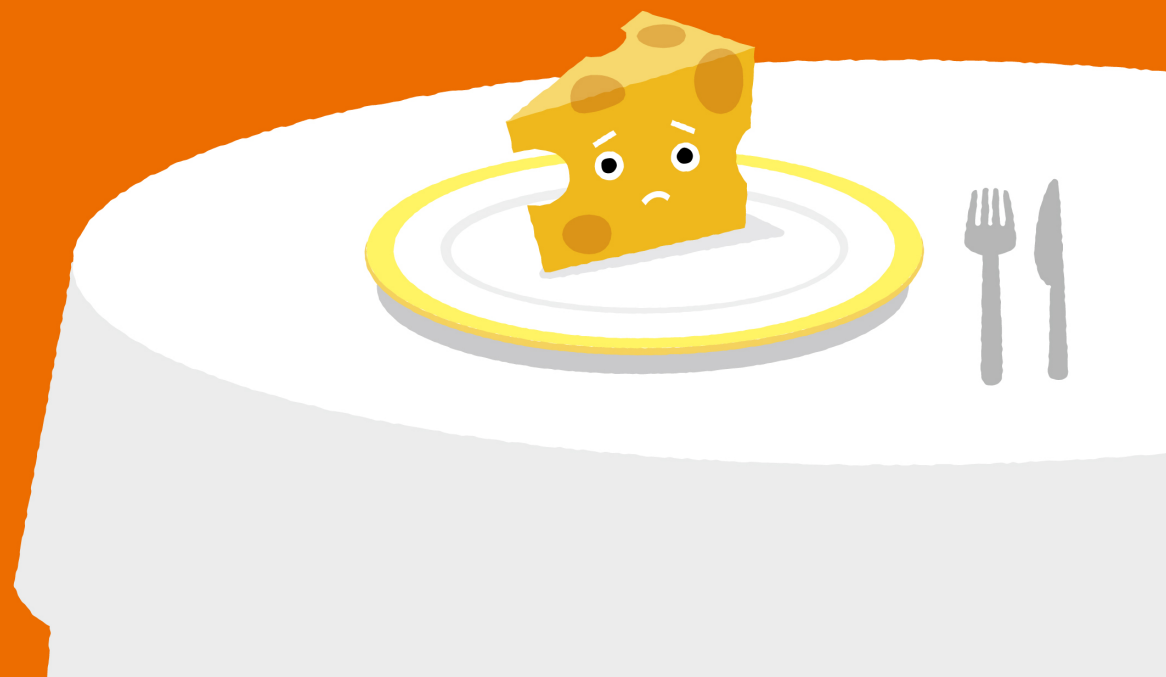


「レストランで注文しすぎるのも

良くないよね」と、チーズさん。

遠いところから日本にやってきたのに、

食べ残されて、捨てられてしまうなんて…とかなしそう。

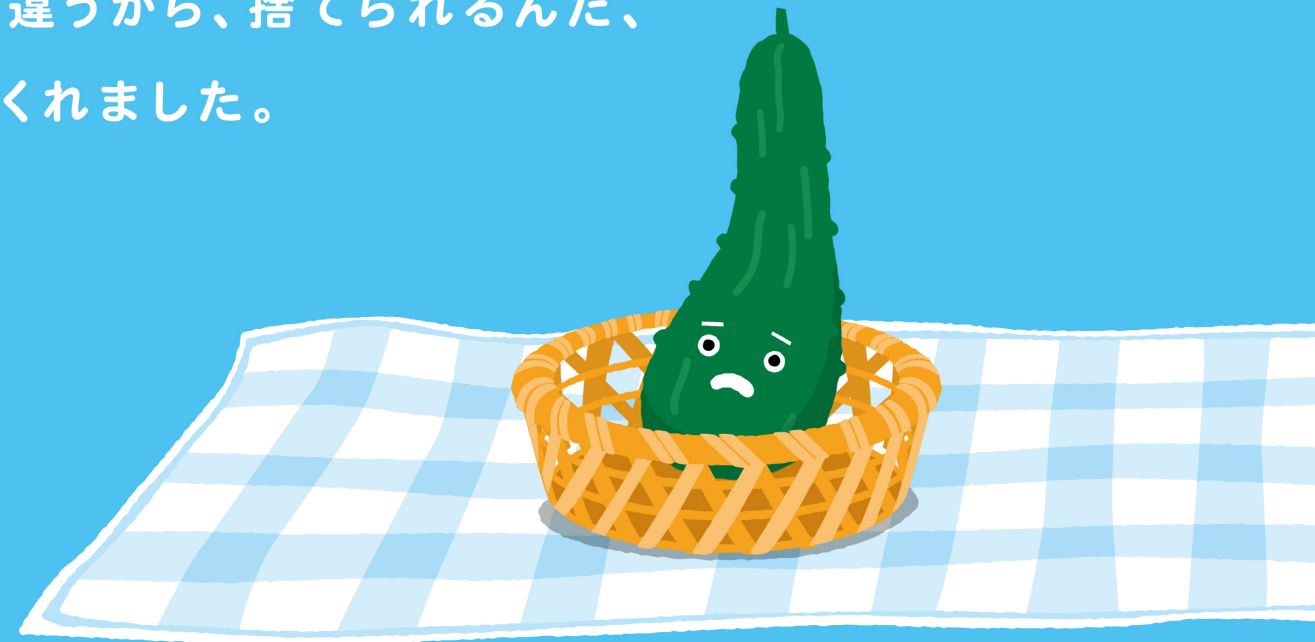


「わしだって、食べたらいしんじゃぞ！」

と、ちょっと変わったかたちのきゅうりさん。

みんなと違うから、捨てられるんだ、

と教えてくださいました。

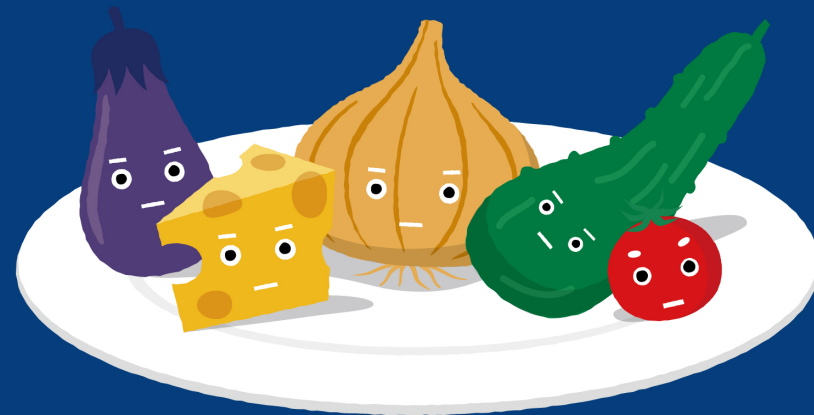


^す好ききらいしないで^た食べてもらうことや、
^か買いすぎない、つくりすぎない、
^{ちゅうもん}注文しすぎないことなど、



おむすびくんは、^た食べ^{のこ}残された
「のこりもの」たちから、
たくさんのことを^{おそ}教わりました。

みんながおいしく
食べられるといいな。



みんなが笑顔でしあわせに
なれるといいな。



のこりものさんたちから、

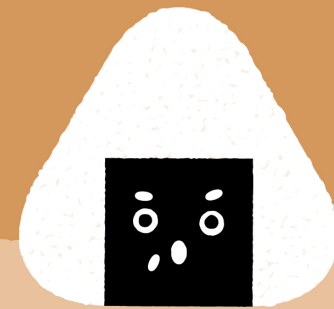
たくさんのおしことを教えてもらったね。

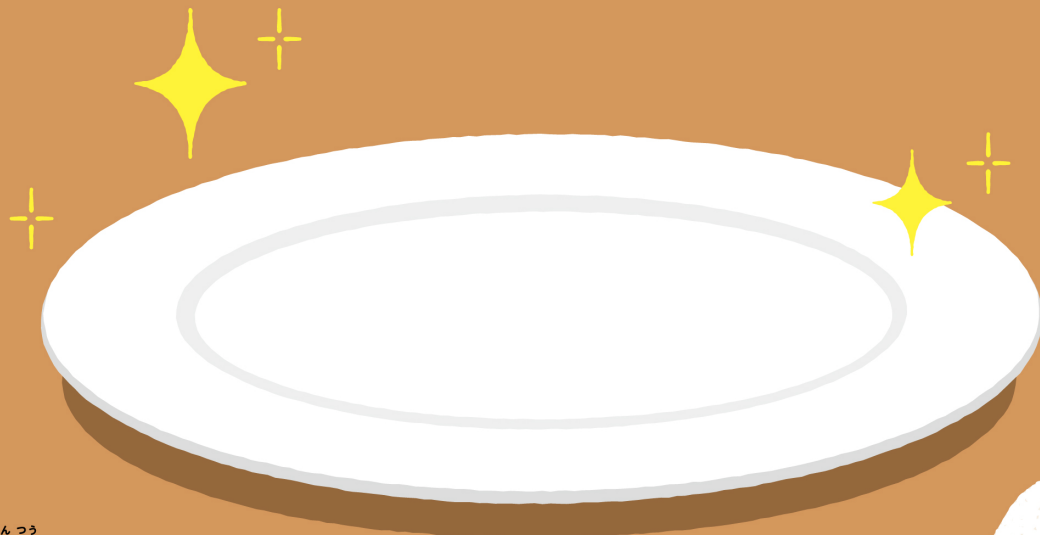
きょう今日からはじめられることも、

きっとおもあると思うんだ。

キミにできること、

かぞくともだち家族や友達といっしょにかんがえてみよう。





せいさく かぶしきがいしゃでんつう
制作：株式会社電通

イラスト・デザイン：たき工房こうぼう & いたのりけんたろう & かのうみなこ

ぶん
文：かんざきこうじ

かんしゅう
監修：



Food and Agriculture
Organization of the
United Nations

